

【ご注文承ります】

清代川滇边務大臣衙門档案 1-68

四川省档案馆 編／巴蜀書社／2023年9月／精装／ISBN 9787553116303

税込 1,595,000 円 (213971)

川滇边務大臣衙門は、英国やロシア等帝国主義列強による西藏侵略という事態に対応するために清朝政府が1906年に設けた機関で、四川雲南等の辺境地区の「改土帰流」および農業・通商・鉱業開発などの政務を担った。

本書は、光緒三十二年(1906)から宣統三年(1911)に川滇边務大臣衙門が作成した档案1193巻11400件を全面的に整理・影印収録する。その内容は、皇帝の詔書・諭旨、奏折から火票・串票・執照・護照・結状・領状・保状・畢業文凭・婚書・門牌等に至るまで多岐にわたっており、清代の文書行政および清末四川・雲南地区の政治・軍事・経済・文化教育・医薬衛生・宗教風俗等を研究するための重要史料である。これら資料は、清末以来の混乱によって雲散したが、1958年に中国科学院民族研究所四川少数民族社会歴史調査組によって発見され、1970年代初めに四川省档案馆に接收された後、本格的な修復と整理が行われ、1990年代にマイクロフィルム化された。本書は、2020年に国家重点档案保護与開發項目專項資金の支持を得て電子化されたデータを元に、カラー影印版として刊行するもの。



(右) 陆军部派差飞驰交投宪政编查馆交发川滇边務大臣公文火票
(左上) 川滇边務大臣衙門发给拥护改土归流者的护照式样
(左下) 川滇边務大臣衙門官制汉藏合璧婚書

ご注文・お問合わせ